

## 事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業(医療に関する事業:子どもはぐくみ医療費助成事業)							
補助事業者名	松茂町長							
実施場所	松茂町内							
補助事業の成果の目標	子どもはぐくみ医療費助成制度において、助成受給資格から所得による制度を撤廃し、その疾病の早期発見と治療を促進し、子供の保健の向上と福祉の増進を図る。							
補助事業の内容	基金を造成し、小学6年生までの医療費の一部を助成する。							
補助事業の始期及び終期	平成28年8月から令和7年3月まで							
事業費及び交付金額	基金造成額					基金処分量	基金残額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益			計
	平成28年度	円 19,600,000	円 263	円 0	円 3,737	円 19,604,000	円 2,454,505	円 17,149,495
	平成29年度	0	286	0	1,714	2,000	3,490,282	13,661,213
	平成30年度	0	638	0	1,362	2,000	3,862,971	9,800,242
	令和元年度	6,000,000	3,400,000	0	985	9,400,985	3,532,317	15,668,910
	令和2年度	0	0	0	1,566	1,566	3,047,822	12,622,654
	令和3年度	0	0	0	252	252	3,250,000	9,372,906
	令和4年度	0	0	0	187	187	3,150,000	6,223,093
	令和5年度	0	0	0	124	124	3,050,000	3,173,217
	令和6年度	0	0	0	63	63	3,173,280	0
計	25,600,000	3,401,187	0	9,990	29,011,177	29,011,177		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	子どもはぐくみ医療の受給者にアンケート調査を行ったところ、回答者の全員が本制度を継続してほしいと回答し、「制度について大変感謝している」等の評価を得られ、子どもの保健の向上と福祉の増進及び安心して子育てが出来る環境の整備に貢献できていることを確認した。 また、町HPへの掲載により、地域住民への周知を継続中である。							
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、助成事業を継続することにより、子どもの保健の向上と福祉の増進及び安心して子育てが出来る環境の整備を図りたい。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分量及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：町立文化施設専門職員配置事業)						
補助事業者名	松茂町長						
実施場所	徳島県板野郡松茂町広島字四番越6番地1						
補助事業の 成果の目標	地域住民が町立図書館の運営に参加しやすい環境が構築されているとは言い難いことから、司書を配置し、住民参加型文化事業を推進・活性化することにより、地域の教育及び文化環境の充実を図る。						
補助事業の内容	専門職員の配置 司書1名 非常勤職員(司書)4名						
補助事業の 始期及び終期	令和2年6月1日から令和3年3月31日まで						
事業費及び交付金額		令和2年度					計
	事業費	円 11,877,611					円 11,877,611
	交付金額	10,000,000					10,000,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>○成果及び評価</p> <p>・コロナ渦の影響で休館、イベントの休止等もあり来館者数の減少(令和2年度48,206人 前年度比51%)となった。おはなし会も6月中旬まで中止、展示会開催は5回(前年度比45%)。しかし一方で感染対策をしたうえで、専門職員を配置および催し物を開催した結果、アンケート評価で図書館利用者のうち、74%の人が地域の教育および文化環境の充実さを挙げており(前年度76%)、住民参加型文化事業の推進・活性化の維持ができたと考えている。</p> <p>よって本事業の成果は得られたと判断する。</p> <p>利用者からは、「子どもといっしょに他の行事にも参加できたらいいと思う。」「文化事業は充実している。」「本が多く、利用しやすい」「作品が展示されて、嬉しい。」という意見や、「広報が不足である。」「よくわからない。」「はじめて知った。」という指摘があったので、事業の周知と魅力ある事業を引き続き行うことが必要である。</p> <p>○地域住民への周知の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町HP</li> <li>・町広報誌</li> <li>・事業をお知らせするパンフレット、告知ポスター</li> <li>・アンケート用紙</li> </ul>						
事業の改善措置及び 今後の対応	引き続き、本事業を継続することにより、コロナ渦が収まったあとも地域の教育及び文化環境の充実を図れるよう、適切に実施する。						
事業の評価に際して の第三者機関の活用 の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：町立小中学校講師等配置事業）				
補助事業者名	松茂町長				
実施場所	徳島県板野郡松茂町内 （長原小学校、松茂小学校、喜来小学校、松茂中学校）				
補助事業の成果の目標	<p>児童数が少ない長原小学校においては、2年生及び4年生の在籍者数が0人となったため、1年生と3年生で一学級、5年生と6年生で一学級を形成する複式学級が基準とされている。</p> <p>しかし、今年度においては、徳島県が1名の教員加配措置を行ったため、5・6年生の複式学級は解消された運営が可能となった。</p> <p>そこで、さらに町費にて講師を1名加配することで、複式学級をすべて解消し、町内他校と同様、学年に応じた教育を受けることができる体制を整え、学校教育の充実を図る。</p> <p>また、松茂小学校、喜来小学校及び松茂中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒においては、正規の教員だけでは重度の障害をもつ児童・生徒一人ひとりに必要な個別教育・指導を十分に行うことが困難であることから、特別支援指導員を各校1名加配し、特別支援教育の充実を図る。</p>				
補助事業の内容	講師 1名（長原小学校） 特別支援指導員 3名（松茂小学校、喜来小学校、松茂中学校）				
補助事業の始期及び終期	令和2年6月から令和3年3月まで				
事業費及び交付金額		令和2年度			計
	事業費	円 9,027,489			円 9,027,489
	交付金額	円 7,500,000			円 7,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>講師を加配した長原小学校においては、すべての学年で単式学級として学級運営が可能となったため、個別指導や補充学習等、教科学習でも指導が行き届いた。特に令和2年度においては、発達段階の違いから複式運営した場合、一方の学年にない教科があり、時間割の設定が難しく、どちらの学年の子どもにとっても不利益になることが予測されたが、講師の配置により学習の充実、また校外学習時の安全と安心を保障した地域での活動に取り組むことができ、該当学年の学習内容に集中し、深く学ぶことができた。校長への聞き取り調査でも「個々の能力・理解に応じた手立てができ、基礎・基本の確実な定着と学力向上に繋がった」との評価を得られ、学校教育の充実が図れたことを確認した。</p> <p>また、特別支援指導員を加配した松茂小学校、喜来小学校及び松茂中学校においては、障害を持つ児童・生徒一人一人と親身に時間をかけて向き合うことにより、きめ細かい指導が実施でき、校長への聞き取り調査でも「情緒面で障害のある児童にも、知的障害のある児童にも、個のペースに応じたねばり強い指導の蓄積が図られた」「指導員の配置により、きめ細やかな支援をすることができ、児童が安心して学校生活を送ることができた」「突発的、衝動的な生徒の変化にいち早く気づき、的確な対応を行って重大な事態になることを未然に防ぐことができた」「情緒面で不安定な生徒の特性を理解して接することができ、生徒が安心して学習に向かうことができた」などの評価を得られ、特別支援教育の充実が図れたことを確認した。</p> <p>また、町HPへの掲載により、地域住民への周知を図ることができた。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	令和3年度においても、複式学級及び特別支援を必要とする児童・生徒が存在することから、本事業を継続することにより、学校教育及び特別支援教育の充実を図りたい。				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連公共用施設(交通施設:松茂3号線舗装等改修工事)整備事業								
補助事業者名	松茂町長								
実施場所	徳島県板野郡松茂町中喜来及び豊久地内								
補助事業の成果の目標	本路線は、町の主要道路で交通量が非常に多い路線であるが、設置後約40年が経過し老朽化が著しく、安全性が低下していることから、舗装及び防護柵の改修工事を実施し、道路交通の安全性・快適性を確保することにより、地域住民の生活環境の改善を図る。								
補助事業の内容	舗装工事 A=20,237㎡、防護柵改修工事 L=660.3m								
補助事業の始期及び終期	平成24年度から令和2年度まで								
事業費及び交付金額		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	R1年度	R2年度	計
		円	円	円	円	円	円	円	円
	事業費	22,575,000	14,911,050	14,679,360	14,801,400	10,666,080	17,063,200	20,359,900	115,055,990
	交付金額	20,098,000	11,907,000	12,083,000	12,000,000	6,402,000	15,241,000	19,000,000	96,731,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	事業完了後、地域住民へのアンケート調査を実施し、道路交通の安全性・快適性の確保に貢献しているか確認し、道路通行した際に感じる振動や騒音、走行性及び安全性について、向上したとの評価を得られ、交通施設の整備が図られていることを確認した。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を工事看板及び町HPに掲載し、地域住民への周知を図ることが出来た。								
事業の改善措置及び今後の対応	今後は、道路交通の安全性・快適性の確保するため、維持管理を行っていく。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有	無								

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。  
2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連公共用施設（教育文化施設：町立文化施設巡回車両）整備事業						
補助事業者名	松茂町長						
実施場所	徳島県板野郡松茂町広島字四番越11番地1						
補助事業の成果の目標	移動型資料館「れきみん号」を導入し、本町にある教育施設（幼稚園、小・中学校）、高齢者福祉施設等に資料館学芸員が出向き、出前授業・人形浄瑠璃芝居出前公演・出張藍染め体験、収蔵資料貸出等を実施することで教育普及活動・生涯学習活動の充実および活性化を図る。						
補助事業の内容	キャブオーバーワンボックスカー（2,000cc以上） 1台						
補助事業の始期及び終期	令和2年12月25日から令和3年3月19日まで						
事業費及び交付金額		令和2年度					計
	事業費	円 2,089,310					円 2,089,310
	交付金額	2,000,000					2,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>○成果及び評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で、計画していた学芸員による出前授業等の中止もあり実施回数は少なくなりましたが、藍染関係の出張授業が複数回実施でき、目的であった教育普及活動に寄与できたと考える。</li> </ul> <p>アンケートについては、実施した幼稚園において行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施した活動</li> </ul> <p>出張藍染体験  松茂幼稚園（令和3年10月26日）実施 教諭5人 園児45人参加  喜来幼稚園（令和3年11月9日）実施 教諭8人 園児30人参加</p> <p>学芸員による出前授業  喜来小学校（令和4年2月8日）実施予定が感染拡大により中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果</li> </ul> <p>巡回車両を利用したイベントを今後とも継続したいかという問いに教諭13人対象に行い100%となり、高評価を得ている。</p> <p>○地域住民への周知の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町HP</li> </ul>						
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、「れきみん号」を活用した取り組みを継続することにより、コロナ禍が収まったあとも教育普及活動及び生涯学習活動の充実を図れるよう、適切に実施する。また広報活動も継続して行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。